

学習(指導)計画表【1年生「ひきざん」】

単元名	ひきざん 10+2時間完了	計算系統領域	数と計算Ⅱ
単元全体の学習活動		指導形態・留意点	算数的活動
<p>① 「かきが13こなっています。9ことるとなんこのこりますか。」の式を立て、計算の仕方を数図ブロックを使って考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 11-8, 15-9の計算を数図ブロックを使って考える。 	<p>◎どの子もできる「だい23しゅう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉 繰り下がりのひき算であることに気づかせる。 減加法の考え方でブロックを操作させる。 	数図ブロック	
<p>② 「ばんが12こあります。7ことりました。なんこのこっていますか。」の式を立て、計算の仕方を数図ブロックを用いて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 15-6の計算を声に出してする。 (十何)-(1位数)の計算練習をする。 	<p>◎どの子もできる「だい23しゅう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉 声を出して、計算の仕方を唱えさせ、減加法を定着させる。 		
<p>③ 「たまいをしました。どちらのほうかなんこおおいですか。」の式を立て「○のほう△こおおい。」を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> □に11から19までの数を入れて「□-9」の計算をする。 □-9, □-8, □-7, □-6, の計算練習をする。 	<p>TT指導</p> <p>◎どの子もできる「だい23しゅう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉 ちがいを求めるときは、ひき算であることを思い出させる。 減加法の考え方を定着させる。 		
<p>④ 「くりが13こあります。4こたべるとのこりはなんこですか。」の式を立て、計算の仕方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> □-5, □-4, □-3, □-2, の計算練習をする。 	<p>◎どの子もできる「だい24しゅう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉 減減法も考えやすいことに気づき、どちらでも計算できるようにする。 	数図ブロック	
<p>⑤⑥⑦⑧ ひき算のカードを使って、繰り返し練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 答えが9のカードに数図ブロックをおく。 	<p>◎どの子もできる「だい24しゅう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉 繰り下がりのあるひき算が確実にできるようにする。 	ひき算カード	
<p>⑨ 教科書のしりとりゲームを行う。</p>	<p>TT指導</p> <p>◎どの子もできる「だい24しゅう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉 たし算とひき算の習熟をはかる。 	計算カード	
<p>⑩ 「たしかめどうじょう」を行う。</p>	<p>◎どの子もできる「だい25しゅう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉 (十何)-□=4の問題については、個別指導を行う。 		
<p>⑪ ステップ「ひきざんれっしゃ」</p>	<p>◎どの子もできる「だい25しゅう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉 習熟が十分でない児童には、数図ブロックで操作させ、視覚的に理解させる。 	数図ブロック	
<p>⑫ ジャンプ「ひきざんのまきもの」</p>	<p>TT指導</p> <p>◎どの子もできる「だい25しゅう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉 巻物を上に伸ばして規則性に気づかせる。 		